



2020年11月6日

各 位

会 社 名 株式会社ジャムコ
 代表者名 代表取締役社長 大喜多 治年
 (コード番号 7408 東証第1部)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 IR担当 後藤 健太郎
 (TEL. 042-503-9145)

通期連結業績予想及び配当予想（無配）
 並びに特別利益・特別損失計上に関するお知らせ

2020年5月18日に公表しました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において、未定としていた2021年3月期の通期連結業績予想及び配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

又、2021年3月期 第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）に特別利益・特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

● 2021年3月期 通期連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

1. 通期連結業績予想の内容

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	-	-	-	-	-
今回修正予想 (B)	58,400	△10,200	△11,100	△8,800	△328円05銭
増減額 (B-A)	-	-	-	-	
増減率	-	-	-	-	
(ご参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	91,535	1,807	1,178	605	22円58銭

2. 通期連結業績予想の理由

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、最近の経済動向や現時点で入手可能な情報や予測等に基づき通期連結業績予想を公表いたします。

現時点において新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期は依然として不透明な状況が続いており、当社グループが関連する航空輸送業界では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅客需要の急減を受け、世界のエアラインの経営環境は大きく悪化しています。又、航空機メーカーは、航空需要の急減を受け大幅な減産を余儀なくされています。

このようななかで当社グループでは、当面は厳しい環境が続くと想定し、将来の航空需要回復に備え全社レベルで業務プロセスの改革、生産体制の効率化を推進し、品質と収益力の向上を目指すと共に、人員削減等による経費削減、投資抑制を図り、拠点整理にも取り組んでいます。又、お客様に安心してご利用いただけるよう、手を触れずに開閉できるラバトリー用ドアハンドル等、感染症対策に向けた製品開発を進めています。

なお、上記見通しの想定為替レートは、105円/米ドルとしています。

※上記の業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により、業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

● 2021年3月期 配当予想について（無配）

1. 配当予想の内容

	年間配当金（円、銭）			配当性向 （連結）
	第2四半期末	期末	合計	
前 回 予 想	-	-	-	-
今 回 修 正 予 想	0.00	0.00	0.00	-
前期（2020年3月期）実績	0.00	20.00	20.00	88.6%

2. 配当予想の理由

当社は株主配当に係る基本方針として、効率的経営に努め収益向上を図ることで、株主の皆様には安定、且つ継続的に還元することを旨とし、又、当面の間、連結配当性向20～30%を目安に配当額を決定するものとしておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、当社グループの業績は大きく悪化しており、誠に遺憾ながら当期の配当は無配とさせていただきたく存じます。株主の皆様には、深くお詫び申し上げますと共に、可能な限り早期に復配できるよう努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 2021年3月期 第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）の特別利益計上について

一時帰休による雇用調整助成金等の助成金収入 418百万円を特別利益に計上することとなりました。

● 2021年3月期 第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）の特別損失計上について

世界的な感染症拡大や政府による緊急事態宣言の影響等により、操業が著しく低下し、一時帰休による固定費などの操業費用等を新型コロナウイルス感染症関連損失として 1,033百万円を特別損失に計上することとなりました。

特別利益及び特別損失の計上についての業績に与える影響としては、本日公表の「2021年3月期第2四半期決算短信[日本基準]（連結）」に反映しております。

以上